

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第2回 常任理事会議事録

日 時：2015年 2 月 10 日（火）19：00～22：00

場 所：コンセーレ JCルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：須山（敬称省略 以下同）
- （ 副 理 事 長 ）：澤畑、福田（之）、太城（遅参）
- （ 専 務 理 事 ）：金
- （ 監 事 ）：篠崎（達）
- （ 担 当 常 任 理 事 ）：羽石、飯野、鈴木、
- （ 日 本 J C 関 係 特 別 委 員 長 ）：亀井
- （ 会 員 拡 大 会 議 議 長 ）：小瀧
- （ 法 令 会 計 審 査 局 局 長 ）：豊崎
- （ 事 務 局 長 ）：飯沼

- 1. 開会宣言 <金>（役職名省略 以下同）
- 2. JCIクリード唱和 <飯沼>
- 3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <豊崎>
- 4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和 <飯野>
- 5. 関東地区宣言唱和 <鈴木>
- 6. 出席者の確認 <飯沼>
- 7. 議事録作人の指名 議 事 録 <総務委員会>
- 8. 前回議事録の確認 <金>

## 9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

## 10. 理事長挨拶

<須山>

皆さまこんばんは。定刻までにお集まりいただきまして大変ありがとうございます。また、総務委員会、渉外委員会の皆さま、毎度の設営大変だと思っておりますありがとうございます。こうして会ができるのも皆さまのおかげです。感謝申し上げます。辻委員長、今日も最後までお願いします。2月の常任理事会ということで、ここまでの感想を申し上げますと、常任でしっかり揉んだものを理事会に持って行きたいなということを最初のほうで申し上げましたが、蓋を開けてみると理事会で、言い方は悪いのですが、炎上してしまっていると言うことが多く見受けられます。この常任理事会でもっともっと長く詰めてあげなければいけないのかなというのが感じたことです。以心伝心と言うことは無くて、常任が思っていることが委員長に勝手に伝わっていて副委員長にも伝わっているかと言えばそれは無理な話で、細かいことでも指摘してあげなければ伝わること無いのだと思います。ですから、この常任理事会でどこまで意見を出して、方向性を出してあげて、理事会でまるっきり変わってしまうと言うことは可哀想ですね。せっかく委員会で揉んだものが常任まで来て、その後委員会を経て理事会になったらまったく違う意見が出てしまうというようにならないように、ここでしっかりと意見を出してもらえればなと思います。ですので、本日の4議案しっかりと揉んでもらえればなと思います。話は変わりますが、最近、私のプライベートの話なのですが、よく夜にユーチューブを見ておまして、ユーチューブを見るのも実は違法なのですが、マネーの虎をよく見えています。マネーの虎を最近見ると凄く面白いです。たとえば、なんでんかんでんの社長は当時37歳だったと言うことに気づき驚愕したり、加藤和也が30歳と、かなり私たちの現在の立場で見ると新鮮な気持ちになります。寝る前に見ていると大体がノーマネーで終わってしまいます。夢を語るものの、計画に甘いところや、礼儀作法に難があるのですね。たとえば、お金を出資してもらいたくてあの場に行くわけですが、例えば鈴木常任が虎だとして、虎に対してプレゼンするわけです。「鈴木さん、私、このような考えですよ」というように。すると虎は「あなた今鈴木さんと言いましたね。それがお金を出してもらう人への態度ですか。」と怒って帰ってしまい、破談してしまう。滅茶苦茶なシチュエーションなのですが、社会人としてのマナーや、事業プロセスがJCに似通っていて、最近よく見えています。社会からの様々な学びや気づきがありますが、JCでやっていく事業プロセスや委員長に何かを教えることも、ただ単に、例会や事業についての指導だけではなく、社会に通じるマナー等も併せて教えていければと思っています。その上で各ラインに揉んでもらえればなと思います。もう一点、日光会議は大変お疲れ様でした。行かれた方は色々な見方があったと思います。私の見方ですが、普段から11LOMの理事長達と関わっているので、現状を分かっているつもりですが、会員の減少と言うものが非常に厳しいのが伝わってきたと思います。私たちは1

29名からスタートしまして、今新たに4名加わり133名になりました。ただ、他のLOMを見ますと20名からのスタートやひと桁スタート、10名代からのスタートなど、いろいろあったと思います。映像の中でメンバー全員が紹介されているものもありましたが、やはり人数が少ないですね。人数が少ないとできる事業や、例会の数も少なくなっていくますし、引き合いに出すわけではありませんが、たかはらさくらは9名です。そして委員会もひとつだけ。街を変えるというには少ないのかなと思います。では129名いればいいのかと言うわけではありませんが、やはりリーダーを育成していくためには、街を輝かせる、牽引していくためには、この青年会議所で揉まれた人間が街に戻って活躍する、それが社会を発展させる灯りになると思います。ですので、会員拡大に関しましても、どこかのLOMがゴールデンゴングを目指しているとも聞きましたが、私たちは129名のスタートなので、30名、40名増えてもゴールデンゴングは貰えないと思いますが、同じように口に出さずとも矜持として、私たちはリーディングLOMであると。栃木県を牽引する存在で無ければならないと思いますので、栃木市や真岡市に並ばれるということは絶対許されないことでありますので、是非とも人数が多く一番力強いLOMでいなければならないと思いますので、引き続き拡大に対してもご協力をいただければと思います。最初に話しましたが、是非とも本日の常任理事会の中で意見をしっかりと出し合って、次の理事会に進んでいただければと思いますので、今日もどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

#### 1.1. 直前理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

#### 1.2. 役員報告

<金> 報告事項のある方、挙手にて報告をお願いします。

<金> 終了させていただきます。

#### 1.3. 協議事項

<金> 協議事項5番、その他をお持ちの方はいらっしゃいますか。無きようですので、本日の協議事項は1番から4番とさせていただきます。

#### 協一 1 3月 研修例会 開催計画並びに予算（案）について

<羽石> 上程に先立ちまして、日程の部分と会員数の数字が訂正できておりませんが、ご容赦願います。現在、委員会は各関係者との打ち合わせや、広報活動を行っています。前回、例会の参加者の管理についてご指摘を受けておりました。その点でメールやファックスでの告知作業を追加しまして地道に行って行きたいと思

います。また、チラシですが、裏面の記載事項を追加したり、過去の研修委員長経験者等にアドバイスを受けていたりしながら、委員会で揉んでいるところです。委員会ではさらに周知に取り組んで行きたいと思います。また、前回ご指摘を受けました、アンケートの回収率についてですが、葛西氏との打ち合わせで色紙をいただけるとの事ですので、少しでもアンケートの回収率を上げることができると思います。慎重なるご協議をよろしく願います。

<金> 今月の理事会で審議予定の案件です。忌憚無き意見をお願い致します。

<鈴木> 事前登録者数は何名ですか。

<羽石> 800名くらいと考えております。

<鈴木> とすると、入場口が狭いかと思います。

<羽石> 時間を区切ってと考えております。

<飯野> 広報ですが、予算が余っています。もっと集客にかけてもいいのでは、委員会の想いが伝わってきません。

<羽石> 検討します。

<鈴木> 議案とは関係ありませんが、先日の日光会議でのPRについて何か反響はありましたか。

<羽石> 今のところありません。

<鈴木> 委員長にはもう少し、1300名を絶対集めるのだという気概をみせてほしいですね。

<須山> 羽石常任、何人集められますか。鈴木常任からもあったように、気迫が足りないのかなと思います。各LOM廻りをして反応はいいのですが、細かいことが抜け落ちていると思います。魂がこもっていないというのが皆さんの感想なのかなと。これから色々廻るわけですが、練習も必要ですし、シナリオを作るかは別として、次回理事会の上程で気迫がわかるような準備をお願いします。また、ポスターですが地図が分かりづらいです。検討されてみては。どうやって1000人

集められるかを、どこまで詰められるかだと思います。

協一2 4月 郷土愛醸成例会開催計画並びに予算（案）について

<鈴木> 変更点は参加員数計画とワークショップのテーマを変更しました。

<金> 全般的な部分でご意見ください。

<飯野> タイムスケジュールの中でワークショップ観覧が80名いらっしゃいますが、1時間もの間、観覧しているだけですか。

<鈴木> ワークショップ参加はできませんが、身近で見られるという形をとります。

<飯野> 2020年までロードマップを作るとありますが、次年度以降どうなるのでしょうか。

<鈴木> 次年度以降は不明瞭ではありますが、今年の取り組みによって、なんらかのきっかけになればと思います。

<豊崎> 背景の2行目3行目が同じような文末で、先月までと同じになっています。また、見積書等が無いので添付してください。

<羽石> メンバーはワークショップを見てればいいのでしょうか。

<鈴木> 現在会場と交渉中ですが、メンバーも参加させられればと思っています。

<羽石> 委員会メンバーはどのような歴史認識のもと、どのような問題提起をしましたか。

<鈴木> 国の歴史を深く知るとともに、自虐史観に至るまでの流れを知り、ワークショップを行うことによって、個々の日本の近代史観を見直すきっかけになればいいと思っています。

<羽石> 郷土愛を育むことには、どう繋がっていきますか。

<鈴木> 参加した市民には、人との関わり方への意識等に今までとは違った価値観を持っていただければと思います。

<羽石> 宇都宮に限定するわけではなく、その地域に住む人々に対する想いも育むことが郷土愛に繋がるということでしょうか。

<鈴木> その通りです。

<飯野> ワークショップの時間が短くはないですか。また、ホワイトボードの位置も考えたほうがいいと思います。

<鈴木> ありがとうございます。

<小瀧> これを機に、宇都宮の歴史ももう一度学んでみてはどうかと思います。

<鈴木> 持ち帰ります。

<飯野> ファシリテーターとタイムキーパーはメンバーがやるとの事ですが、落とし込みはどのように考えてますか。

<鈴木> 各委員会の代表者を集めて勉強会を行う予定です。

<金> ワークショップのテーマがありますが、その理由とどのような着地点を考えていますか。

<鈴木> 愛国心と郷土愛の醸成が目的です。

<小瀧> ワークショップは委員会で勉強しますか。

<鈴木> 現在勉強中です。

<須山> チラシはそのまま行きますか。

<鈴木> このままで行きたいです。

<須山> チラシは何をやるかを伝えられればいいと思いますが、少し分かりにくいです。また、ドレスコードを設定することと、プレスリリースの際に、内容をこちらで精査してほしい旨の依頼をかけてもいいのではないかと思います。

協一3 5月わんぱく相撲例会計画並びに予算（案）について

<羽石> 変更点は説明会の日程の変更です。公聴会にも是非ご参加ください。また、礼儀作法の徹底や女子児童へのまわし担当に女性を充てること、新規の参加団体を募っていく考えでいます。ポスターは次回の理事会に間に合わせようと思っています。

<鈴木> 警備態勢についてどのように考えていますか。

<羽石> 精査します。

<鈴木> イベント参加の子どもたちが相撲に参加したい場合は。

<羽石> 各団体の中で調整してもらっています。

<小瀧> 議案書のフォントを見直してください。郷土愛醸成例会とコラボしては。

<鈴木> 元力士との交流会の時間をもう少し増やしていただきたいです。

<亀井> アンケートがありますが、去年のものと何が変わりましたか。

<羽石> 精査します。

<鈴木> ストリートダンス選手権の子どもたちが踊る場所はどこですか。また、元力士の対応（金銭面）を教えてください。

<羽石> 本部前を考えています。元力士についてはこれからです。

<鈴木> ダンスは靴を履くので土俵の確認と、力士は誘導の仕方が重要だと思います。

<飯野> アトラクションについて、休憩時間が目的ではないでしょうか。盛りだくさん過ぎて、相撲が霞むと思います。費用対効果の面でも疑問です。冊子は配って終わりですか、説明は考えたほうが良いと思います。

<小瀧> 元力士は何故この方にしたのですか。

<羽石> ツテがあったからです。

<小瀧> 知名度や縁のある力士を選定してもいいのでは。意見です。

<羽石> ありがとうございます。

<金> 作法の資料の著作権は大丈夫ですか。

<羽石> オリジナルなので大丈夫かと思います。

<須山> 気になった点がひとつ、事業内容のひし形は事務局長大丈夫ですか。

<飯沼> 協議してみます。

<須山> 規律正しくやりましょう。あと提案ですが、県内メディアに取材協力を頼めないか検討ください。せっかく協賛・後援をいただいているので。タイムスケジュールや動線もう少し考えるべきだと思います。

#### 協一４ 5月PR事業開催計画並びに予算（案）について

<飯沼> 対外に対するPRが目的です。

<太城> 事業目的ですが、PRをすることでどのような影響を与えたいのかまで書いてください。

<小瀧> 背景ですが、曖昧な表現が見受けられます。

<鈴木> 対内の事業目的ですが、対象がわかりづらいです。

<飯沼> 市民を指しております。更に集客できるように検討したいと思います。

<小瀧> 対内事業目的ですが、市民協働の表現が誇大に感じられます。

<飯沼> 多種多様な団体が参加予定のため、このような表現にしました。再度精査いた

します。

<鈴木> 事業概要の中身が理解できません。効果があるのか疑問です。何故子どもたちに絵を描かせるのですか。

<飯沼> 関係諸団体に向けてのPRにもなると思います。子どもとともに親も引き込みますし、展示されることで持続的な効果が得られると思います。

<小瀧> 宇都宮JCは各団体とコラボするのですか。単に参加するだけですか。

<飯沼> 参加してPRを考えています。

<小瀧> 参加だけで交流が持てたり、PRになりますか。もっと手法を考えてください。

<鈴木> 宇都宮JCの存在をPRするのかやっている活動の内容をPRするのか、どちらですか。

<飯沼> 宇都宮JC自体です。

<羽石> 宇都宮JCそのものをPRして、このアンケート内容は違うような気がします。

<飯野> 絵を描くという事業でメンバーは何をするのか。もっと他のやり方があるのでは。

<亀井> 絵を描くのはいいと思うが、ターゲットを集めて何がしたいのか。目的があまり見えないと思います。JCならではの設えも考えてみては。

<飯沼> 精査を進めます。

<小瀧> 過去に他の団体がどのようなブースを設営したなどを調べたほうがいいのでは。

<飯沼> 問い合わせ中のものもありますが、ネット上で調べております。

<鈴木> 事業内容と対外事業目的がズレてると思います。来場者を見込むより、自発的にPRに動いたほうが効果が高いのでは。

<飯沼> ビラを撒くことも考えましたが、持続性を考えた場合、公共性を高めることに

よって効果が得られるものと思い、絵にしました。いただいたご意見は持ち帰ります。

<飯野> 抽選に漏れた場合、これ以外の手法は委員会でどのようなものがありましたか。

<飯沼> まず漏れることは無いと考えています。

<福田（之）> 参加申し込みについて。15日早朝申し込みで、内容が変わっても大丈夫なのか。

<飯沼> 確認します。

<鈴木> 資料作成費と参加記念品の金額のバランスがおかしいと思います。

<飯沼> 子どもたちが絵を書いたクレヨンに宇都宮J.Cの名入れをし、持ち帰っていただくことを考えています。

<鈴木> 事業内容を今一度再考すべきだと思います。

<飯沼> 検討いたします。

<須山> 何故ここに出るのか、よく考えを固めてください。皆さんイメージが湧かないために理解に苦しんでいるのだと思います。費用対効果を事業計画にもう一度立ち返って精査してください。

#### 14. 報告事項

報-1

<金> ご一読ください

報-2 対外配布資料（案）について

<飯野> 郷土愛醸成事業の開催趣意書ですが、本文下から2行目の書き方を考えていただけたらと思います。

<小瀧> わんぱく案内文について。相撲は日本伝承文化とありますが表現を変えたほうがいいと思います。

報-3

<金> ご一読ください

報-4

<金> ご一読ください

報-5

<金> ご一読ください

報-6 会費納入状況について

<豊崎> 会費納入の催促をお願いします。

報-7

<金> みなさん未納のメンバーにきちんと連絡してください。

<羽石> 拡大のリーフレットの進行状況はどうなっていますか。

<飯沼> 修正を進めております。

<鈴木> 特別会員の申込書はどこですか。

<豊崎> 事務局にあります。

## 15. 監事講評

<篠崎>

皆さまお疲れ様でした。まずは総務・渉外の設営、総務におかれましてはアジェンダの作成、チェックありがとうございました。そして渉外委員会の皆さん、この後も懇親会の設営ありがとうございます。本日、議案に関しまして、全部気になるところではありましたが、意見ではなく感想と言う形で述べさせていただきたいと思います。研修例会に関して

でございます。どうしても警備の面が気になっておりまして、警備・誘導を含め20名、それに対して1300名の来場者は、一人頭にするると55名。それができるかどうか、予算があるのであれば警備も増やせるのではと思います。そして郷土愛醸成例会、こちらも少し分かりづらい表現なので、理事会までに分かりやすく説明できるよう努力していただきたいと思います。わんぱく相撲例会に関しましては、経験したことが無いので分かりませんが、全てが三十数回続く中で成功に終わっている、その中で引継ぎ事項等ありますので、細かいところ足りていなかったら引継ぎをして進めていただきたいと思います。問題なのはPR事業でございます。マイフェスタの開催趣意書を熟読したのか、何故か宇都宮JCだけがPRというだまし討ちにあっていると思います。こちらの開催趣意書をよく読んで事業構築していただきたいと思います。また、冒頭、理事長から会員拡大についてもございましたが、いよいよ3名入られて、今度は受け入れる側になって皆さんにもお伝え願いたいのですが、JCに入ってどのように楽しむか、友達を作れるかと言う基本の3つ言われているのが、こういう団体ですので会社の肩書きは持ち込まないというのがひとつあると思います。そしてとりあえず来てみる。参加させるような努力をしていただきたい。そして、参加された後に入会されたメンバーが、自分がどんな役割なのか、飲み会の盛り上げ役でもいいですし、PCが得意であれば資料作成などの居場所を見出して作っていただきたいと思います。常任理事会から理事会まで時間が無いと思います。委員会組織としてはある程度、進んできているのかと思いますので、今後、その人にあった指導方法も見えてくると思いますので、そちらの方の教育・指導もよろしくお願ひしたいと思います。以上で監事講評とさせていただきます。お疲れ様でした。

## 16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2015年度 第2回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会